

第 131 回 地区内中小企業 景 気 動 向 調 査 結 果

(2021 年 7 月 ～ 9 月実績)

(2021 年 10 月 ～ 12 月予想)

***** 目 次 *****

地区内データベース		1
全国 ・ 全道の概況		4
調 査 の 概 要		5
全 業 種 総 合		6
製 造 業		9
建 設 業		11
卸 売 業		13
小 売 業		15
サ ー ビ ス 業		17
特 別 調 査		19

地 区 内 デ ー タ ベ ース

1. 人 口・世 帯 数 動 向（令和3年9月末）

町 村 名	人 口			世 帯 数		
	人 数	前年同月比	3 月 末 比	世 帯 数	前年同月比	3 月 末 比
平 取 町	4,693	-133	-19	2,444	-49	12
日 高 町	11,169	-233	-7	5,959	-79	7
新 冠 町	5,280	-116	-45	2,764	20	9
新 ひ だ か 町	21,474	-489	5	11,499	-117	73
浦 河 町	11,740	-264	-140	6,580	-56	-38
様 似 町	4,092	-49	-14	2,124	-16	-18
え り も 町	4,450	-80	-7	2,111	-7	16
広 尾 町	6,394	-184	-27	3,257	-45	5
大 樹 町	5,437	-10	39	2,751	27	33
日高・十勝地区合計	74,729	-1,558	-215	39,489	-322	99
札 幌 市	1,961,618	-64	789	1,086,762	8,607	4,485
江 別 市	119,777	-106	275	59,100	432	502
石 狩 市	58,140	-161	-78	28,285	182	41
北 広 島 市	57,850	-300	-140	28,077	146	54
恵 庭 市	70,153	61	159	34,465	372	228
千 歳 市	97,766	-356	663	51,042	67	592
石狩地区合計	2,365,304	-926	1,668	1,287,731	9,806	5,902
苫 小 牧 市	169,756	-614	-52	90,578	573	380
厚 真 町	4,406	-36	-14	2,121	23	9
む か わ 町	7,663	-126	-1	4,065	-34	8
胆振地区合計	181,825	-779	-67	96,764	562	397
営業区域合計	2,621,858	-3,260	1,386	1,423,984	10,046	6,398

*日高町の人口に外国人登録者数は含まれていません

（資料出所：各市町村）

2. 企 業 倒 産 状 況（令和3年7～令和3年9月中）

単位：件・百万円	件 数	負 債 金 額	件数前年同期比	金額前年同期比
苫 小 牧 管 内	2	880	-1	335
（内・新冠町～えりも町）	0	0	-1	-500
業 種 お よ び 件 数				
地 区 お よ び 件 数				
北 海 道	28	5,717	-6	2,820
全 国	1,447	253,298	-574	9,321

（資料出所：東京商工リサーチ）

3. 労働需給状況 令和3年7月

	浦 河 (人・倍)	全 道 (人・倍)	前年同月比(%・ポイント)		前月比(%・ポイント)	
			浦 河	全 道	浦 河	全 道
月間有効求人数	916	80,836	9.44	8.00	3.15	-0.28
月間有効求職者数	557	81,771	-13.37	3.73	-6.70	-3.56
月間有効求人倍率	1.64	0.99	0.34	0.04	0.15	0.03

令和3年8月

月間有効求人数	902	81,323	8.81	8.49	-1.53	0.60
月間有効求職者数	577	83,830	-5.87	5.07	3.59	2.52
月間有効求人倍率	1.56	0.97	0.21	0.03	-0.08	-0.02

令和3年9月

月間有効求人数	902	82,951	11.08	7.63	0.00	2.00
月間有効求職者数	576	84,414	-8.72	3.65	-0.17	0.70
月間有効求人倍率	1.57	0.98	0.28	0.03	0.01	0.01

(資料出所：厚生労働省 北海道労働局)

4. 浦河町・新ひだか町静内 金融機関預金・貸出金残高 (令和3年9月末現在)

単位：百万円・%

預 金			貸 出 金		
残 高	前年同月比	前 月 比	貸 出 金	前年同月比	前 月 比
169,108	1.06	1.00	59,102	1.02	1.02

(資料出所：浦河・静内金融協会)

5. 浦河町・新ひだか町静内 手形交換高

令和3年7月

	当 月	前年同月比 (%)	前月比 (%)
交 換 枚 数 (枚)	115	-42.79	-38.83
交 換 金 額 (百万円)	190	-37.09	-48.79
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和3年8月

交 換 枚 数 (枚)	240	25.00	108.70
交 換 金 額 (百万円)	511	23.43	168.95
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

令和3年9月

交 換 枚 数 (枚)	167	-15.23	-30.42
交 換 金 額 (百万円)	475	21.79	-7.05
不渡り手形枚数 (枚)	0	-	-
不渡り手形金額 (百万円)	0	-	-

(資料出所：浦河・静内金融協会)

6. 建 築 確 認 申 請

単位：件数

		件 数	前 年 同 期 比	前 四 半 期 比
当 金 庫 管 内 (新ひだか町～広尾町)	3 / 7 ～ 3 / 9 月 迄 の 累 計	20	-8	-17
	3 / 4 ～ 3 / 9 月 迄 の 累 計	57	31	

(資料出所：各町村)

7. 気 象 情 報

令和3年7月中

	本 年			平年偏差・平年比		
	気温 (℃)	降水量 (mm)	日 照 時 間	気温 (℃)	降水量 (%)	日照時間 (%)
浦 河	19.8	66.0	170.5	2.1	46.6	147.5
広 尾	18.6	83.5	110.4	2.0	50.2	101.9

令和3年8月中

浦 河	20.5	142.5	193.0	0.6	88.2	141.9
広 尾	18.7	469.5	114.1	0.1	215.7	100.2

令和3年9月中

浦 河	17.3	203.5	198.2	-0.4	140.9	121.3
広 尾	16.1	197.0	159.8	-0.5	75.0	118.8

(資料出所：国土交通省 気象庁)

全 国 ・ 全 道 の 概 況

信金中央金庫がまとめた全国信用金庫の窓口から見た中小企業の景況によると、2021年7～9月期（今期）の業況判断D. I. は△29. 1、前期比2. 5ポイント改善と、依然厳しい水準のなかで2四半期続けての改善となった。収益面では、前年同期比売上額判断D. I. が△14. 5と前期比0. 2ポイント改善、同収益判断D. I. は△17. 2と同0. 4ポイント悪化した。販売価格判断D. I. はプラス3. 4と7四半期ぶりにプラス転換した。人手過不足判断D. I. は△15. 3と人手不足感は一段と強まった。設備投資実施企業割合は0. 6ポイント低下して19. 9%となった。業種別の業況判断D. I. は全6業種中、小売業を除く5業種で、地域別では全11地域中、九州北部などを除く8地域で、それぞれ改善した。2021年10～12月期（来期）の予想業況判断D. I. は△26. 9、今期実績比2. 2ポイントの改善を見込んでいる。業種別には全6業種中、不動産業を除く5業種で、地域別には全11地域中、北海道を除く10地域でそれぞれ改善見通しにある。

日本銀行札幌支店が10月1日発表した金融経済概況によると、北海道地域の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあり、横ばい圏内の動きとなっている。すなわち、個人消費は、引き続き低い水準となっており、横ばい圏内の動きとなっている。観光は、引き続き厳しい状況にあり、弱い動きとなっている。設備投資は下げ止まっている。公共投資は高水準で推移している。住宅投資は緩やかに持ち直している。輸出、生産は持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。

需要項目別動向

- 公共投資・・・高水準で推移している。公共工事の発注の動きを示す公共工事請負金額は、高水準で推移している。
- 輸出・・・持ち直している。主要品目別にみると、食料品で持ち直しの動きがみられるほか、輸送用機器等では緩やかに持ち直している。
- 設備投資・・・下げ止まっている。9月短観（北海道地区）における2021年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。
- 個人消費・・・引き続き低い水準となっており、横ばい圏内の動きとなっている。スーパー、ドラッグストア、家電販売は、底堅い動きとなっている。乗用車販売は、供給制約の影響から、小幅ながら減少傾向にある。コンビニエンスストアは、やや低い水準で推移している。百貨店は、低い水準で推移している。サービス消費は、引き続き低い水準にあり、弱い動きとなっている。
- 観光・・・引き続き厳しい状況にあり、弱い動きとなっている。
- 住宅投資・・・緩やかに持ち直している。新設住宅着工戸数をみると、持家は持ち直している。貸家は低水準で推移している。分譲は高めの水準で推移している。
- 生産（鉱工業生産）・・・持ち直している。主要業種別にみると、電気機械などでは持ち直している。食料品では、一部に弱めの動きがみられるものの、持ち直しつつある。輸送機械では供給制約の影響から減産の動きがみられている。紙・パルプでは低水準で推移している。
- 雇用・所得・・・労働需給、雇用者所得ともに弱めの動きがみられている。
- 物価・・・消費者物価（除く生鮮食品）は、概ね前年並みとなっている。
- 企業倒産・・・低水準で推移している。